

＜令和3年度 前期＞  
甲斐市商工会地域経済動向調査に関する会員アンケート結果報告書

調査対象期間：令和3年4月～9月（前期調査）

実施日：令和3年8月20日～9月5日

実施方法：①甲斐市商工会総代宛にアンケート票を郵送

②回収は郵送、FAXで実施

配布票：145票

回収票：82票（回収率56.6%）

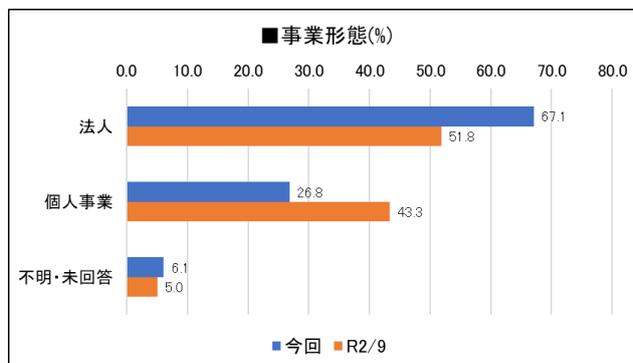
（参考：令和2年9月実施調査の回答者数は282人）

## I. 事業所属性

### 1. 事業形態

「法人」が全体の67.1%と2/3弱を占め、「個人」は26.8%、その他不明・未回答6.1%であった。

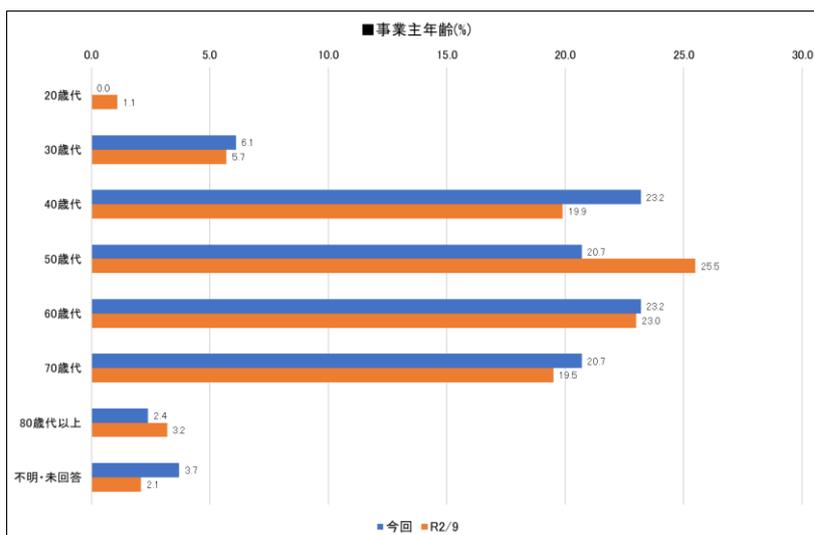
ちなみに令和2年9月実施の調査結果と比較すると今回の方が法人の比率が高い。



### 2. 事業主の年齢は

「40歳代」と「60歳代」が各23.2%を占め、次いで「50歳代」と「70歳代」の各20.7%となっている。このほかでは「30歳代」が6.1%、「80歳以上」が2.4%であった。

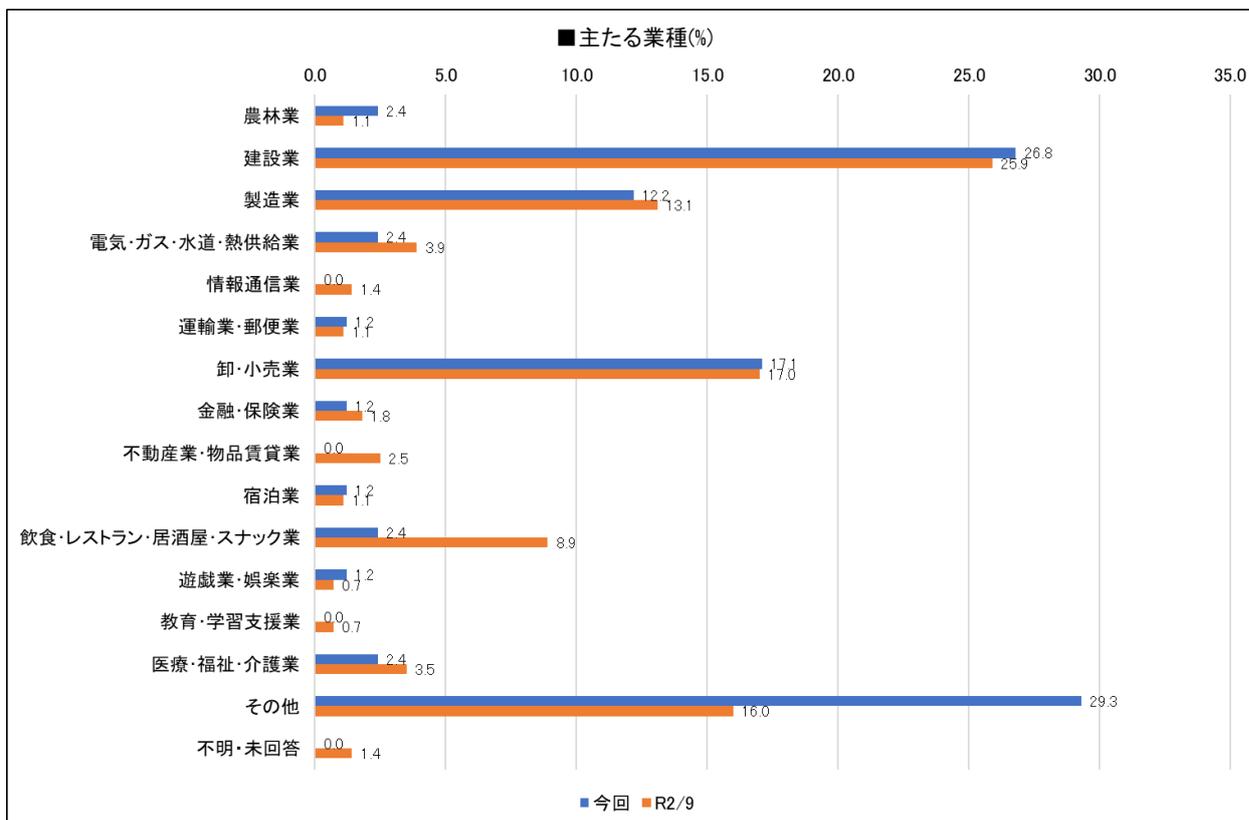
令和2年9月調査時と比較すると、40歳代を筆頭に30歳代、70歳代において今回の方が多く、50歳代、80歳以上は少なかった。



### 3. 業種（主たる業種を1つ選択）

主たる業種としては、その他を除くと「建設業」が26.8%で最も多く、次いで「卸小売業」の17.1%、「製造業」12.2%の順となっている。

なお、「その他」業種には、自動車販売整備、アクセサリ、運送、理容、産業廃棄物、清掃、写真業などであった。



### 4. 従業員数

事業主と常勤している役員を除いた従業員数（パート・アルバイトを含む）は、「1人」が全体の19.5%を占めて最も多く、次いで「4人」

（13.4%）、「2人」（11.0%）、「5人」（9.8%）などの順で、3人以下が合計41.5%、5人以下は64.7%で約2/3を占めている。

なお、前回調査では3人以下が52.2%で今回より多く、5人以下は63.2%で今回より多少は少ない結果であった。

従業員数	件数	今回(%)	R2/9(%)
0人	6	7.3	11.7
1人	16	19.5	18.1
2人	9	11.0	13.5
3人	3	3.7	8.9
4人	11	13.4	6.7
5人	8	9.8	4.3
6~7人	3	3.7	7.1
8~9人	5	6.1	2.8
10~15人	5	6.1	8.2
16~20人	0	0.0	1.8
21~30人	4	4.9	3.5
31~40人	0	0.0	0.7
41~50人	1	1.2	1.8
51~100人	2	2.4	3.2
101人以上	0	0.0	1.8
不明・未回答	9	11.0	6.0
合計	82	100.0	100.0

## II. 景況調査結果

### 1. 決算月（個人事業者は12月のみ）

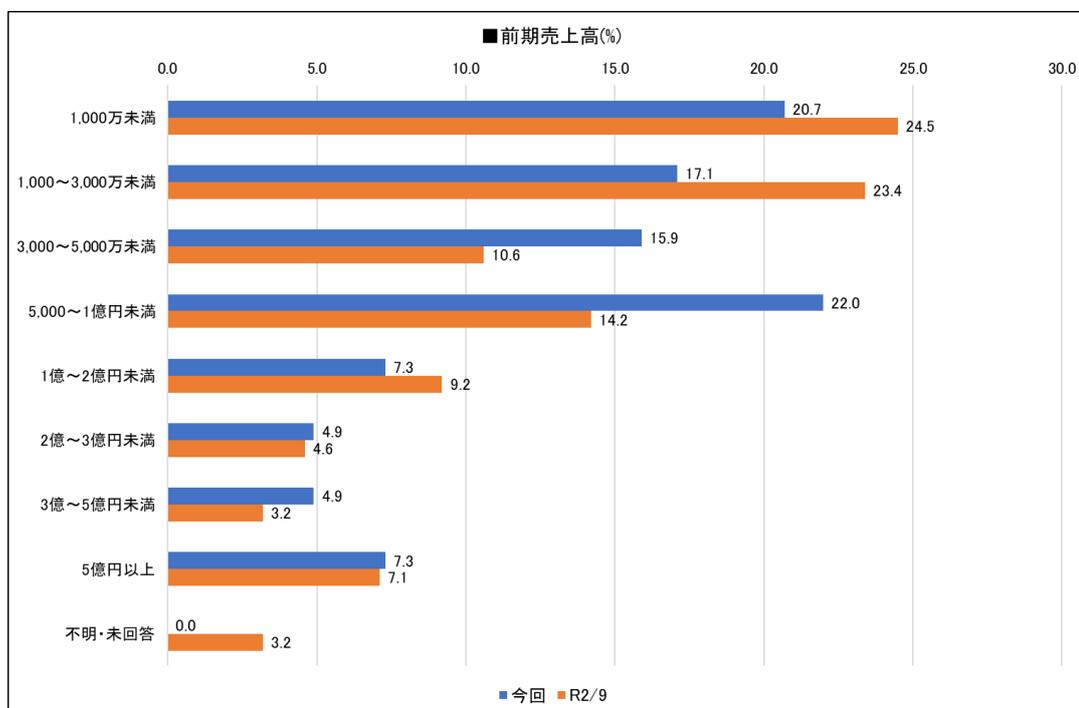
不明・未回答者 20.7%と個人事業者関連が多い「12月」が18.3%で多く、このほかでは「6月」が12.2%で、以下「3月」8.5%、「2月」、「4月」、「7月」が各6.1%であった。

前期決算月 (個人はすべて12月)	件数	(%)
1月	0	0.0
2月	5	6.1
3月	7	8.5
4月	5	6.1
5月	8	9.8
6月	10	12.2
7月	5	6.1
8月	2	2.4
9月	3	3.7
10月	3	3.7
11月	2	2.4
12月	15	18.3
不明・未回答	17	20.7
合計	82	100.0

### 2. 昨年（前期）の売上高実績

昨年度の売上高実績としては、「5,000～1億円未満」が全体の22.0%を占めて最も多く、以下、「1,000万円未満」(20.7%)、「1,000～3,000万円未満」(17.1%)、「3,000～5,000万円未満」(15.9%)の順番であった。

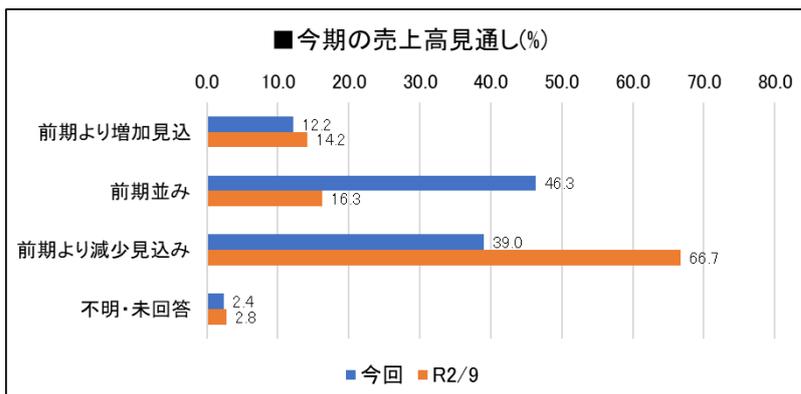
ちなみに、令和2年9月実施の調査結果では、1,000万円未満が24.5%で最も多く、以下、1,000～3,000万円未満(23.4%)、5,000万円～1億円未満(14.2%)の順で、今回の方が売上高は平均して高く傾向がみられた。



### 3. 今期の売上高見込み

今期の売上高見通しとしては、「前期並み」が46.3%と半数弱を占めて最も多く、次いでコロナの影響のためか「減少見込み」が39.0%と4割近く、「増加」は12.2%であった。

令和2年9月調査においてはコロナの影響が大きく「減少見込み」が66.7%と2/3を占めていたが、今回はこれが低下して「横ばい」が大きく伸びた状況となった。



#### 3-1. 昨年度（前期）と比較して売上高増加見込みの程度

増加見込みと回答した11事業所のうち、増加見込みの程度については「51%以上」と「0~10%程度」が各4事業所でそれぞれ全体の36.4%を占めて最も多く、「21~30%前後」が2事業所（18.2%）であった。

今期の売上高見通し (増加見込回答)	件数	(%) 除く非該当
0~10%程度	4	36.4
11~20%程度	0	0.0
21~30%程度	2	18.2
31~40%程度	0	0.0
41~50%程度	1	9.1
51%以上	4	36.4
未回答	0	0.0
合計	11	100.0

#### 3-2. 昨年度（前期）と比較して売上高減少見込みの程度

減少見込みと回答した30事業所の減少率見込み比率としては、「51%以上」5事業所（16.7%）のほか「0~10%程度」、「11~20%程度」、「21~30%程度」もそれぞれ5事業所あり、その他「41~50%程度」が3事業所、「31~40%程度」が2事業所であった。

今期の売上高見通し (減少見込回答)	件数	(%) 除く非該当
0~10%程度	5	16.7
11~20%程度	5	16.7
21~30%程度	5	16.7
31~40%程度	2	6.7
41~50%程度	3	10.0
51%以上	5	16.7
未回答	5	16.7
合計	30	100.0

### 4. 昨年と比べて最近の販売単価・受注単価は

販売・受注単価に関して、前年との比較を見ると、「概ね前期並み」が57.3%と半数強を占めた。なお、「一部製品は上がっている」（18.3%）や「全般的に上がっている」（11.0%）も合計29.3%と

昨年と比べて最近の販売単価・受注単価は	今回(%)	R2/9(%)
全般的に上がっている	11.0	8.5
一部製品は上がっている	18.3	
概ね前期並みである	57.3	29.1
一部製品は下がっている	1.2	
全般的に下がっている	9.8	5.3
不明・未回答	2.4	
合計	100.0	100.0

令和2年9月調査時点よりかなり高くなっており、反対に「一部」及び「全般的」に下がっているとの回答は令和2年9月調査時点より大幅に低下している。

## 5. 昨年と比べて最近の仕入れ費用・仕入単価は

仕入れ費用、仕入単価については、「全般的に上がっている」・「一部仕入製品は上がっている」合計が64.6%と約2/3を占めた。一方で「一部下がっている」・「全般的に下がっている」合計は2.4%とわずかであり、総じて仕入関係費用は増加傾向がみられる。

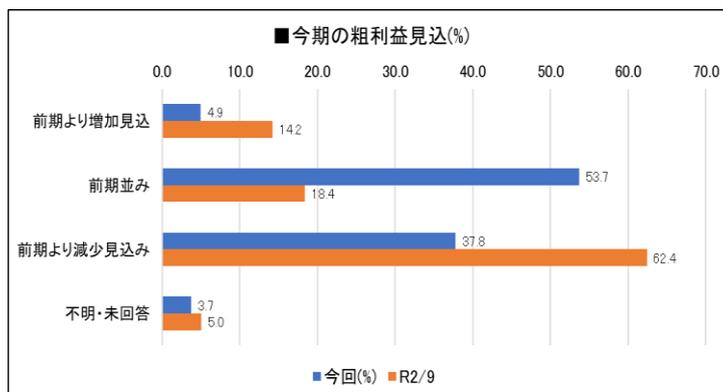
昨年と比べて最近の仕入れ費用・仕入単価は	今回(%)	R2/9(%)
全般的に上がっている	34.1	37.9
一部仕入れ製品は上がっている	30.5	
概ね前期並みである	31.7	47.9
一部仕入れ製品は下がっている	0.0	7.8
全般的に下がっている	2.4	
不明・未回答	1.2	6.4
合計	100.0	100.0

## 6. 今期の粗利益率の見込み

(注. 粗利益率とは、売上高から仕入れや製造原価を差し引いたものです)

粗利益率(売上高総利益率)については、「前期並み」が53.7%で半数強となっており、次いで「減少見込み」が37.8%で、「増加見込み」は4.9%となっている。

令和2年9月結果との比較では、「減少見込み」が大幅に低下し、「前期並み」が反対に急増、「増加見込み」も9.3ポイント増加している。



### 6-1. 昨年度(前期)と比較して粗利益率増加見込みの程度

粗利益が増加を見込んでいる5事業所のうち、3事業所が「0~10%程度」で、残りは、「21~30%程度」と「41~50%程度」が各1事業所となっている。

今期の粗利益率の見込み(増加見込み回答)	件数	(%) 除く非該当
0~10%程度	3	60.0
11~20%程度	0	0.0
21~30%程度	1	20.0
31~40%程度	0	0.0
41~50%程度	1	20.0
51%以上	0	0.0
未回答	0	0.0
合計	5	100.0

### 6-2. 昨年度(前期)と比較して粗利益率減少見込みの程度

粗利益の減少見込みは29事業所で、未回答の8事業を除くと最も多かったのが「0~10%程度」の8事業所となっている。

このほかでは、「11~20%程度」が4事業所、「21~30%程度」と「51%以上」が各3事業所あった。

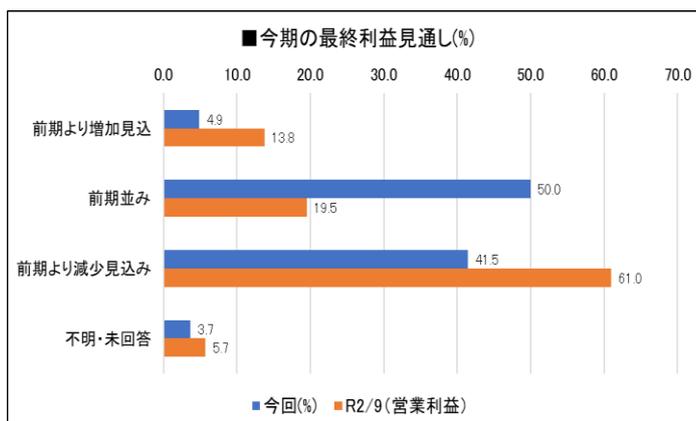
今期の粗利益率の見込み(減少見込み回答)	件数	(%) 除く非該当
0~10%程度	8	27.6
11~20%程度	4	13.8
21~30%程度	3	10.3
31~40%程度	1	3.4
41~50%程度	2	6.9
51%以上	3	10.3
未回答	8	27.6
合計	29	100.0

## 7. 今期の最終利益の見通し

(注. 最終利益とは、法人は経常利益、個人事業主は売上高から原価、経費を差し引いた金額)

今期の最終利益の見通しについては、粗利益率と同様に「前期並み」が50.0%と端数を占めて最も多く、次いで「減少見込み」が41.5%で、「増加見込み」は4.9%にとどまった。

なお、令和2年9月調査結果との比較では「減少見込み」が大幅に減少して、「前期並み」が反対に大幅に増加した。



### 7-1. 昨年度（前期）と比較して最終利益増加見込みの程度

前期より増加見通しの6事業所については、「0～10%程度」増加が2事業所で、他は「21～30%程度」と「51%以上」が各1事業所であった。（その他「未回答」2事業所）

今期の最終利益の見通し (増加見込み回答)	件数	(%) 除く非該当
0～10%程度	2	33.3
11～20%程度	0	0.0
21～30%程度	1	16.7
31～40%程度	0	0.0
41～50%程度	0	0.0
51%以上	1	16.7
未回答	2	33.3
合計	6	100.0

### 7-2. 昨年度（前期）と比較して最終利益減少見込みの程度

最終利益が前期より減少見込みとの回答は31事業所で、このうち減少状況としては「0～10%程度」の7事業所と最も多かった。以下「11～20%程度」が6事業、「51%以上」4事業所、「21～30%程度」3事業所などの順であった。（その他「未回答」が8事業所となっている）

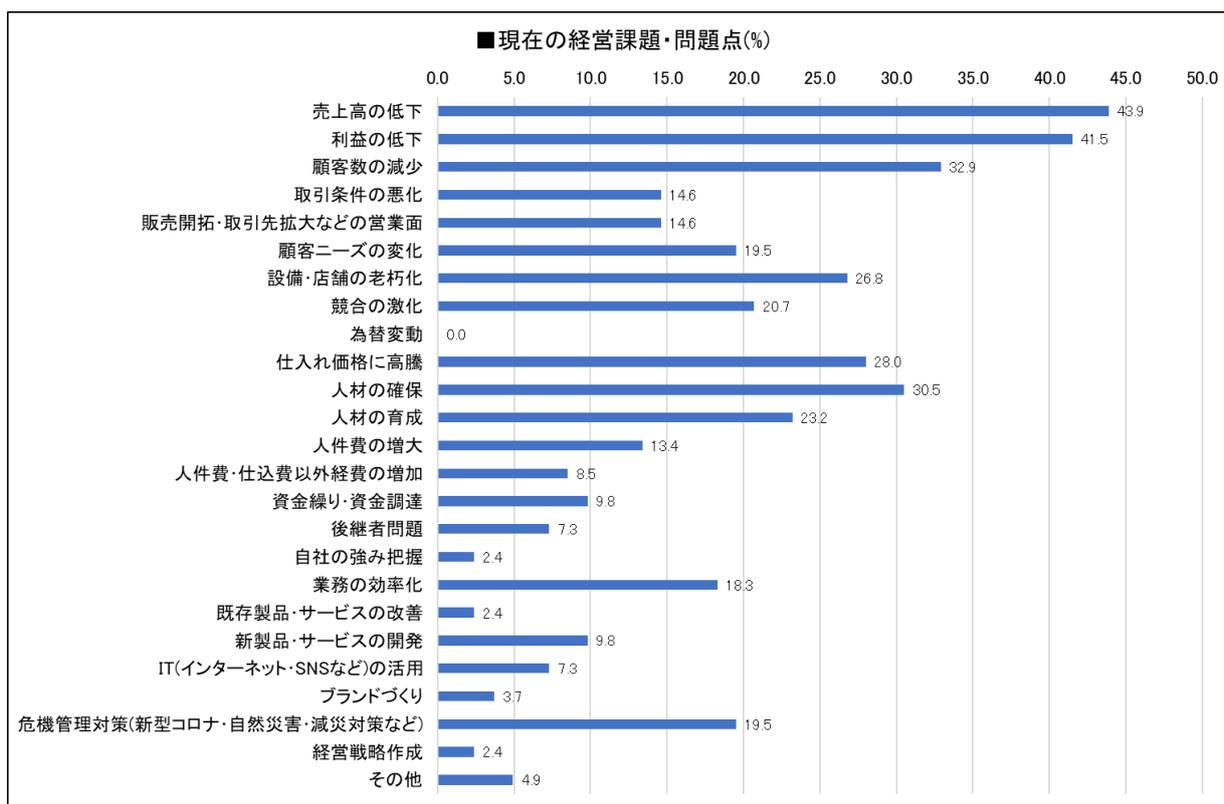
今期の最終利益の見通し (減少見込み回答)	件数	(%) 除く非該当
0～10%程度	7	22.6
11～20%程度	6	19.4
21～30%程度	3	9.7
31～40%程度	1	3.2
41～50%程度	2	6.5
51%以上	4	12.9
未回答	8	25.8
合計	31	100.0

## 8. 現在の経営の課題や問題点

令和2年1月から新型コロナ感染の影響が約1年半以上経過した段階であるが、経営面での課題や問題点としては、「売上高の低下」(43.9%)・「利益の低下」(41.5%)と半数弱の回答者が収益面に関して考えているとの回答であった。

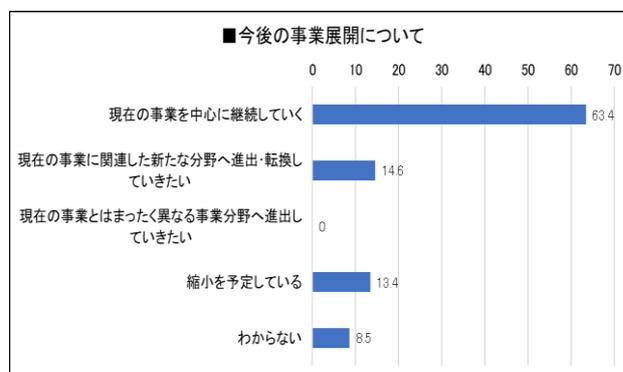
このほかでは「顧客数の確保」(32.9%)が1/3あったほか、「人材の確保」(30.5%)、「仕入れ価格の高騰」(28.0%)、「設備・店舗の老朽化」(26.8%)、「人材の育成」(23.2%)、「競合の激化」(20.7%)などが20%以上の回答となっている。

なお、新型コロナや自然災害等への「危機管理対策」に関して課題、問題点とする回答者も19.5%あった。



## 9. 今後の事業展開についてどのように考えているか

今後の事業展開については、「現在の事業を中心に継続していく」との回答が63.4%と約2/3を占めて最も多く、以下「現在の事業に関連した新たな分野へ進出・転換していきたい」が14.6%で、「縮小を予定している」も13.4%と1割以上あった。



## 10. その他自由意見

- ・大型店の商品価格では、売ることが出来ないので販売意欲を失ってしまう。
- ・現場に出て業務を行っている。コロナ対応による業務形態の変化に対する対応。発生した場合の人員確保、資金調達、業務の継続支援などが知りたい。今後の業務に不安定要素である(コロナ感染拡大)。
- ・雇用助成金があるので、社員も解雇しなくて継続しているが景気が戻らないで助成金廃止になった場合、社員の解雇も考えていく予定。会社継続が難しくなる。
- ・M&A が大事になりそうです。
- ・コロナ下で苦戦中です。
- ・コロナウイルス感染症対策により、国家予算を多く支出しているので今後の予算編成、予算配分に不安を感じている。
- ・一般小売業の個人店ではここが限界か。個人の小売業はどの業種も先がない感じ。
- ・これからの小売業はいくら努力しても常に混迷している時代。これからお店を継続していけるのか心配です。
- ・コロナ渦で今、先のことはわかりません。今ある仕事をコツコツやるのみです。と、同時に将来世の中がどう変化していくのか見据えながら、常に前向きにコツコツとです。
- ・自店から 3km 以内に大型店(スーパー)が 13 店舗あり、またコンビニが 10 店以上あるのとコロナの関係にて売上と客数が少ないため死活問題(閉店)になるかも。
- ・私は父親から事業継承で 2 代目ですが、売上の低迷はこの先も見込めないので、息子(16 歳)には継がせるつもりはなく、他の仕事をすすめています。
- ・個人事業所では、コロナ禍の需要低下、減少が大きな問題です。販路開拓や、新商品の開拓以前の問題で「人が動きたい」と思わなければ成立しない業種の為、会社でどうこうできない現状。外出自粛や世間の風潮等が変わらなければ厳しいです。
- ・毎年利益の低下があり、状況がよくない。

### Ⅲ. まとめ

今回の景況調査結果のまとめとしては以下のとおりである。

#### 1. 令和2年1月以降の新型コロナウイルス感染禍の中で、景況は「厳しい」状態が続いている。

令和2年9月に概ね今回と同様な商工会全会員向けにアンケートを実施した（以下「前回調査」という）。また、今回の調査対象者は甲斐市商工会総代であり対象者数が絞られて一概には比較困難であるが、傾向としては前回調査結果より今回の調査結果の方が総じて「前期より減少（悪化）している」状態から「現状維持」との回答が多くなった。

具体的には、「今期の売上高見込み」、「粗利益率見込み」、「最終利益見込み」項目であり、前回調査時には「前期より減少見込み」が各項目とも60%以上を占めていたが、今回の調査ではこれら項目が40%程度まで低下し、一方で「前期並み」との回答が増加し、「前期より増加見込み」はすべての項目で前回より落ち込んでいる。

これらの結果から、今回調査を昨年度が前期ととらえると前回調査時と同様か、それより厳しいとする事業所が多いものといえ、景況としては厳しい状況が続いているものといえる。

#### 2. 経営の課題、問題点においても引き続いて収益の低下が上位になっている。

前年度と比較して「販売・受注価格の単価」については一部製品を含めると上がっているとの回答が前回調査時より増加したものの、「仕入価格・単価」についても約2/3の事業所において全体もしくは一部で値上がりしているとの回答があった。

この結果、現状の経営課題や問題点についても「売上高低下」、「利益低下」との回答が40%以上を占めて最上位クラスとなっており、このほか「顧客数減少」、「仕入価格高騰」などの回答も30%前後あり、多くの事業所が収益低下を課題や問題としていることが判明した。

なお、このような結果については自由意見においても「廃業」や「死活問題」等の意見があり、コロナ禍において多くの企業における経営の厳しさが感じられる。

(参考資料)

(SA)

No.	事業形態	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	法人	55	67.1	51.8
2	個人事業	22	26.8	43.3
	不明・未回答	5	6.1	5.0
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	事業主の年齢は	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	20 歳代	0	0.0	1.1
2	30 歳代	5	6.1	5.7
3	40 歳代	19	23.2	19.9
4	50 歳代	17	20.7	25.5
5	60 歳代	19	23.2	23.0
6	70 歳代	17	20.7	19.5
7	80 歳代以上	2	2.4	3.2
	不明・未回答	3	3.7	2.1
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	業種	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	農林業	2	2.4	1.1
2	漁業	0	0.0	
3	鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.0	
4	建設業	22	26.8	25.9
5	製造業	10	12.2	13.1
6	電気・ガス・水道・熱供給業	2	2.4	3.9
7	情報通信業	0	0.0	1.4
8	運輸業・郵便業	1	1.2	1.1
9	卸・小売業	14	17.1	17.0
10	金融・保険業	1	1.2	1.8
11	不動産業・物品賃貸業	0	0.0	2.5
12	宿泊業	1	1.2	1.1
13	飲食・レストラン・居酒屋・スナック業	2	2.4	8.9
14	遊戯業・娯楽業	1	1.2	0.7
15	教育・学習支援業	0	0.0	0.7
16	医療・福祉・介護業	2	2.4	3.5
17	公務	0	0.0	
18	その他	24	29.3	16.0
	不明・未回答	0	0.0	1.4
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	従業員数	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	0人	6	7.3	11.7
2	1人	16	19.5	18.1
3	2人	9	11.0	13.5
4	3人	3	3.7	8.9
5	4人	11	13.4	6.7
6	5人	8	9.8	4.3
7	6~7人	3	3.7	7.1
8	8~9人	5	6.1	2.8
9	10~15人	5	6.1	8.2
10	16~20人	0	0.0	1.8
11	21~30人	4	4.9	3.5
12	31~40人	0	0.0	0.7
13	41~50人	1	1.2	1.8
14	51~100人	2	2.4	3.2
15	101人以上	0	0.0	1.8
16	不明・未回答	9	11.0	6.0
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	前期決算月(個人はすべて12月)	件数	(%)
1	1月	0	0.0
2	2月	5	6.1
3	3月	7	8.5
4	4月	5	6.1
5	5月	8	9.8
6	6月	10	12.2
7	7月	5	6.1
8	8月	2	2.4
9	9月	3	3.7
10	10月	3	3.7
11	11月	2	2.4
12	12月	15	18.3
	不明・未回答	17	20.7
	合計	82	100.0

(SA)

No.	前期決算期の年間売上高	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	1,000 万未満	17	20.7	24.5
2	1,000～3,000 万未満	14	17.1	23.4
3	3,000～5,000 万未満	13	15.9	10.6
4	5,000～1 億円未満	18	22.0	14.2
5	1 億～2 億円未満	6	7.3	9.2
6	2 億～3 億円未満	4	4.9	4.6
7	3 億～5 億円未満	4	4.9	3.2
8	5 億円以上	6	7.3	7.1
	不明・未回答	0	0.0	3.2
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	今期の売上高見通し	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	前期より増加見込	10	12.2	14.2
2	前期並み	38	46.3	16.3
3	前期より減少見込み	32	39.0	66.7
	不明・未回答	2	2.4	2.8
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	今期の売上高見通し(増加見込回答)	件数	今回(%)	(参考)R2/9 昨年比売上 増加回答者 限定(今期増 加予想)	R2/9(%)
1	0～10%程度	4	4.9	10%前後	7.1
2	11～20%程度	0	0.0	20%前後	5.0
3	21～30%程度	2	2.4	30%前後	0.4
4	31～40%程度	0	0.0	40%前後	0.7
5	41～50%程度	1	1.2	50%前後	1.1
6	51%以上	4	4.9		
7	未回答	0	0.0	未回答	0.0
8	非該当	71	86.6	非該当	85.8
	合計	82	100.0	合計	100.0

(SA)

No.	今期の売上高見通し(減少見込み回答)	件数	今回(%)	(参考)R2/9 昨年比売上 減少回答者 限定(今期減 少予想)	R2/9(%)
1	0~10%程度	5	6.1	10%前後	7.8
2	11~20%程度	5	6.1	20%前後	17.4
3	21~30%程度	5	6.1	30%前後	17.4
4	31~40%程度	2	2.4	40%前後	9.6
5	41~50%程度	3	3.7	50%前後	13.5
6	51%以上	5	6.1		
7	未回答	5	6.1	未回答	1.1
8	非該当	52	63.4	非該当	33.3
	合計	82	100.0	合計	100.0

(SA)

No.	昨年と比べて最近の販売単価・受注単価は	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	全般的に上がっている	9	11.0	8.5
2	一部製品は上がっている	15	18.3	
3	概ね前期並みである	47	57.3	57.1
4	一部製品は下がっている	1	1.2	29.1
5	全般的に下がっている	8	9.8	
	不明・未回答	2	2.4	5.3
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	昨年と比べて最近の仕入れ費用・仕入れ単価は	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	全般的に上がっている	28	34.1	37.9
2	一部仕入れ製品は上がっている	25	30.5	
3	概ね前期並みである	26	31.7	47.9
4	一部仕入れ製品は下がっている	0	0.0	7.8
5	全般的に下がっている	2	2.4	
	不明・未回答	1	1.2	6.4
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	今期の粗利益率の見込みは	件数	今回(%)	R2/9(%)
1	前期より増加見込	4	4.9	14.2
2	前期並み	44	53.7	18.4
3	前期より減少見込み	31	37.8	62.4
	不明・未回答	3	3.7	5.0
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	今期の粗利益率の見込みは(増加見込み回答)	件数	(%)
1	0～10%程度	3	3.7
2	11～20%程度	0	0.0
3	21～30%程度	1	1.2
4	31～40%程度	0	0.0
5	41～50%程度	1	1.2
6	51%以上	0	0.0
7	未回答	0	0.0
8	非核当	77	93.9
	合計	82	100.0

(SA)

No.	今期の粗利益の率の見込みは(減少見込み回答)	件数	(%)
1	0～10%程度	8	9.8
2	11～20%程度	4	4.9
3	21～30%程度	3	3.7
4	31～40%程度	1	1.2
5	41～50%程度	2	2.4
6	51%以上	3	3.7
7	未回答	8	9.8
8	非核当	53	64.6
	合計	82	100.0

(SA)

No.	今期の最終利益の見通しは	件数	今回(%)	R2/9(%) (営業利益)
1	前期より増加見込	4	4.9	13.8
2	前期並み	41	50.0	19.5
3	前期より減少見込み	34	41.5	61.0
	不明・未回答	3	3.7	5.7
	合計	82	100.0	100.0

(SA)

No.	今期の最終利益の見通しはの(増加見込み回答)	件数	(%)
1	0～10%程度	2	2.4
2	11～20%程度	0	0.0
3	21～30%程度	1	1.2
4	31～40%程度	0	0.0
5	41～50%程度	0	0.0
6	51%以上	1	1.2
7	未回答	2	2.4
8	非核当	76	92.7
	合計	82	100.0

(SA)

No.	今期の最終利益の見通しはの(減少見込み回答)	件数	(%)
1	0～10%程度	7	8.5
2	11～20%程度	6	7.3
3	21～30%程度	3	3.7
4	31～40%程度	1	1.2
5	41～50%程度	2	2.4
6	51%以上	4	4.9
7	未回答	8	9.8
8	非核当	51	62.2
	合計	82	100.0

(MA)

No.	現在の経営課題や問題点は	件数	今回(%)	(参考)R2/9 現在の経営 面の課題や 問題は	R2/9(%)
1	売上高の低下	36	43.9		
2	利益の低下	34	41.5		
3	顧客数の減少	27	32.9	需要の低迷	37.2
4	取引条件の悪化	12	14.6	取引条件の 悪化	8.2
5	販売開拓・取引先拡大などの営業 面	12	14.6	販路開拓・取 引先拡大	17.0
6	顧客ニーズの変化	16	19.5	顧客ニーズの 変化	17.0
7	設備・店舗の老朽化	22	26.8	設備・店舗の 老朽化	17.0
8	競合の激化	17	20.7	競合の激化	19.5
9	為替変動	0	0.0	為替変動	0.4
10	仕入れ価格に高騰	23	28.0		
11	人材の確保	25	30.5	人材の確保	34.4
12	人材の育成	19	23.2	人材の育成	28.4
13	人件費の増大	11	13.4	人件費の増 大	13.1
14	人件費・仕込費以外経費の増加	7	8.5	仕入価格の 高騰	16.3
15	資金繰り・資金調達	8	9.8	資金繰り・資 金調達	14.5
16	後継者問題	6	7.3	後継者確保	14.9
17	自社の強み把握	2	2.4	自社の強み 把握	3.5
18	業務の効率化	15	18.3	業務の効率 化	9.6
19	既存製品・サービスの改善	2	2.4	既存製品・サ ービスの改善	3.2
20	新製品・サービスの開発	8	9.8	新製品・サー ビスの開発	8.2
21	IT(インターネット・SNS などの活用	6	7.3	人件費・仕入 費以外経費 の増加	8.5
22	ブランドづくり	3	3.7	IT 活用	4.3
23	危機管理対策(新型コロナ・自然災 害・減災対策など)	16	19.5	ブランドづくり	6.0
24	経営戦略作成	2	2.4	危機管理対 策(新型コロ ナ・自然災害 ・減災対策な ど)	21.3
25	その他	4	4.9	その他	1.8
	不明・未回答	0	0.0	未回答	3.9
	合計	82	100.0	合計	100.0

(SA)

No.	今後の事業展開についてどのように考えていますか	件数	今回(%)	(参考)R2/9 後継者は	R2/9(%)
1	現在の事業を中心に継続していく	52	63.4	後継者は決まっている	18.8
2	現在の事業に関連した新たな分野へ進出・転換していきたい	12	14.6	後継者は決ま っていないが 後継者候補い る	12.8
3	現在の事業とはまったく異なる事業分野へ進出していきたい	0	0	後継者を探し ている	1.8
4	縮小を予定している	11	13.4	後継者は決ま っていないが 事業継続した い	14.9
5	わからない	7	8.5	事業の譲渡・ 売却を考えて いる	2.1
	不明・未回答	0	0	廃業を検討し ている	15.6
	合計	82	100	まだ考えてい ない	29.4
				未回答	4.6
				合計	100.0

令和3年10月  
甲斐市商工会経営支援課

調査協力：(株)サン・グローバル総合研究所  
藤田 泰一 中小企業診断士